

愛知県田原市の養豚場でCSFが 発生しました！（国内51例目）

【飼養状況】 1,754頭

【発生の経緯】

愛知県は、12月16日（月曜日）農場から、飼養豚が異状を呈しているとの報告を受け、家畜防疫員による立入検査を実施しました。（当該農家は11月2日、26日にワクチン接種済み（哺乳豚は除く））

愛知県の検査によりCSFの疑いが生じたため、材料を農研機構動物衛生研究部門に送付し遺伝子解析を行ったところ、ワクチン由来ではなく野外ウイルスであることが判明し、12月17日（火曜日）CSFの患畜と確認されました。

岐阜県内ではワクチン接種を行っていますが、農場内には哺乳豚等十分な抗体がない豚も存在します。ウイルスが農場内に侵入しないよう引き続き注意をお願いします。

自分の農場を守るため飼養衛生管理基準遵守等の再徹底！

①衛生管理区域への病原体の持込み防止と消毒、車両消毒の徹底！

衛生管理区域専用の衣服及び長靴を使用し、少しでも侵入のリスクを減らす
特にイノシシ監視区域の農場では畜舎ごとの専用の衣服、長靴の設置・使用
ワイヤーメッシュ・防鳥ネットの設置等、野生動物の侵入防止対策を再徹底する
飲水の適切な消毒の実施 次亜塩素酸等により飲水消毒を実施！

②早期発見と早期届出

毎日の健康観察を実施 異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡を

③飼養管理の記録と保管

常時から、飼養豚の飼料給与、分娩、出荷、異状の有無、死亡等について記録する。
異状を示す個体については具体的な症状、体温を記録する。

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします。

ご不明な点がございましたら以下までお問い合わせください。
中央家畜保健衛生所：電話番号058-201-0530